

職員ペンリレー

大村 寿 (理科)



私は企業や大学からのお客様と話す機会が多い立場にいますが、ある地域の企業で高卒後すぐ採用された人に「この職業に就いたきっかけは何でしたか？」と尋ねたことがあります。「普段からよく利用する会社で...」「地元貢献したくて...」といった回答でした。お世話になっている身の回りの方々へのリスペクトを強く感じるとともに、自分が身近な人の役に立ちたいという想いが素晴らしいと思いました。その一方で、大学の方が、「このような教育に力を入れていて...」、「将来はこんなところに就職して...」という話をしにきてくださることもあります。話を聴くと、地方の中小規模の大学や専門学校でも、強く尖った特徴を持っていて、通う価値のある学校だと感じることもたくさんあります。

何が言いたいのかというと、「高校生の皆さんには、皆さんの想像以上にたくさんの選択肢がある」という、当たり前のことを、最近私がより強く思うようになったということです。卒業したらどのような世界が広がっているかを知ることで、今の生活が大きく変化するのではないかと思います。「様々な選択肢の中から」自分の進むべき路を選ぶために、今のうちから調べたり、実際に行って体験したりして、視野を広げてほしいと思っています。さて、今日は、何をしましょうか。

ドローンコンテスト アイデア部門 優勝

12月25日(木)シーハットおおむらサブアリーナにて、高校生ドローンコンテストが開催されました。本校の1年生2名がアイデア部門に出場し、見事に優勝を果たしました。コンテストに向けて、相手に伝わりやすいスライドの見せ方や話し方などを考えながら発表練習を重ね、内容の完成度を高めていきました。写真で生徒が持っているのは、優勝賞品として贈呈されたトイドローンです。



長崎和牛調理動画選手権 3位入賞

第3回長崎和牛調理動画選手権に、本校の3年生2名が出場し、見事3位に入賞しました。長崎和牛の魅力をもっと引き出す工夫が高く評価されました。今後も本校では、食を通じた学びや挑戦を大切にしていきます。

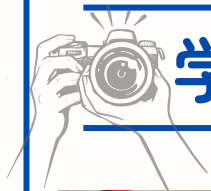


全国高校生マイプロジェクト アワード2025長崎サミット

1月25日(日)長崎国際大学にて、全国高校生マイプロジェクトアワード長崎サミットに本校の1年生1名が出場しました。他校の出場生徒の前で、自分の探究活動について堂々と発表することができました。



閲覧ありがとうございました



学年の窓News!

宇久高校の「今」をお届けします。

各学年の職員から

1 年生



第1学年 いつかのメリークリスマス

2学期終わりの12月24日に、本クラスの生徒が手作りしてくれた『ミルクレープ』を1学年の生徒・教員で美味しくいただきました。「2学期の終わり、今年の終わりに何かしたい」という思いで、何度も試行錯誤を繰り返し、みんなに振舞ってくれました。見た目も美味しさも抜群の完成品に、生徒と教員からは称賛の声と、感謝の気持ちが溢れていました。みんなで輪になって食べたミルクレープの味と一体感を思い出しながら、2026年も1年生らしく躍動しよう！（角田）

2 年生

百人一首大会から始まった2026年。意気揚々とした表情を見ることができ、とてもうれしく感じました。新しい一年の始まりにふさわしい、清々しい時間でした。いよいよ最終学年へ向けて、あと一步です。残りの期間は短いようでいて、日々の過ごし方次第で大きく成長できる時間でもあります。授業、行事、進路準備、そして日常の積み重ねが、次の一年の土台になります。今年は、3人それぞれが自分の目標をしっかり見据え、計画的に取り組める一年にしていきたいと思います。迷ったときは立ち止まって考え、また前へ進めば大丈夫です。互いを支え合いながら、一步ずつ確実に前進していきたいと思います。（石見）



手に取れば先に声上げ札の山
笑みこぼれる勝ちのよろこび



3 年生

第3学年 ユビトマ企画「逆転授業がしたい！」

1月20日、3年生による「逆転授業（生徒が教師に教える企画）」が実施されました。企画書・指導案の作成や会場の設営計画など、発案から実施まで3年生が2人で作り上げ、騒いだり遅れてきたりする生徒（教員）にも負けず、堂々とした授業を披露してくれました。「教室を席でいっぱいしてみたい」というささやかな願いから始まった本企画ですが、並んだ机をみて3年生は感嘆の声を上げていました。実現に協力してくださった生徒と生徒（教員）のみなさん、本当にありがとうございました。（村里）



キンプリ学

BGM学



閲覧ありがとうございます